

NO.212

令和6年2月1日発行

3月

6月

9月

12月

定例会は年4回

市議会だより

くるめ

G I K A I T I M E S

特集

くるめっ子の30年後のために

—市議会議員の思い—



くるめっ子の30年後のために

— 市議会議員の思い —

前号の第211号特集で取り上げた決算審査では「子どもへの支援」に関する質疑が多く出されてきました。少子高齢化が進展する中、今の子どもたちが大人になった時、安心して生活していけるのか不安を感じている人もいるのではないのでしょうか。

そこで、今号の特集では、各会派から選出された6人の議員と議会広報委員長で、30年後の社会の姿を想像しながら「久留米の子どもたちの未来のために」をテーマに意見を交換。今後の議論につながる話になりました。



堺 太郎 43歳 | 立志会 |

一時代の流れが速くなっている中で、30年という結構な時間です。まず、30年前[1993年(平成5年)]に今の社会を想像できていましたか。

坂田: ポケベルとかの時代でもんね。

もちろん、携帯電話なんてなかった。

吉武: ワープロ専用機からパソコンに替わっていった頃かな。

秋永: 今のような技術の発展は考えられなかった。まさか学校で1人1台のパソコンやタブレットを使って授業をするとは考えもしなかったですね。

— 東京工業大学がまとめた『未来社会像2020』では、「場所や身体、距離等に起因する物理的な制約は、もはや

人々にとっての「困難」を意味しない。」とあります。これからの30年でどんな変化があると想像しますか。

坂田: 人が未来をどのようにイメージするかで、世界は変わるんだろうと思います。「我々がどういふ変化を望むか」ですよ。

秋永: ライフサイエンスはものすごく進歩すると思います。健康寿命の概念も変わっていくのではないのでしょうか。そうすると、何を幸せと思うかも変わっていくでしょうね。

坂田: 交通や物流も変わるでしょうね。

堺: 現金はなくなるかもしれないですね。カードもいらなくなって、顔認証で支払いが済んでしまうとか。市役所の手



吉武 憲治 68歳 | 緑水会 |



秋永 峰子 65歳 | みらい久留米 |

グローバル化の中で、久留米の子どもたちと世界をもっとつなげていきたいですね。

坂田: 行動範囲の概念も、今まで考えていたものとは変わってくるでしょう。久留米にしながら、世界中で仕事ができる、っていう感じに。DX*1の力で、言葉や地理的な距離は障壁じゃなくなるだろうし。

ボーダレスになると、住む所も職業も、いろんなことが自由に選べるようになりますよね。

山崎: ドラえもんの世界が、現実になるんじゃないですか。科学者もそこに向かってるでしょ。

堺: 「未来社会像2020」によれば、映画「アバター」の世界も、DXで実現するということでしょうね。

山崎: 少子化や人口減少が言われていますが、ある程度は機械やAIに任せることになるんじゃないでしょうか。人間は、人間にしかできない分野の仕事に集中できたりします。

— そういう変化の先にどんな社会があると考えますか。

山崎: 今より自由に生きられる社会、個人が否定されない社会にしたいです。

田住: 個人の意思がもっと尊重される社会。自分自身

続きも、自宅にいてオンラインで済んでしまうようになるでしょうね。

松岡: 学校の授業も変わってくるでしょう。授業は家で受けるものになっているかもしれません。

秋永: これからどんな社会にしたいか、まずは大人が考えないといけません。グ

で選べる世の中でないといけない。

坂田: 学校に行くのか行かないのか、結婚するのかわからないのか、働き方を選ぶのも当たり前になるでしょう。多様な選択肢を保障すること、選んだ選択肢の中で生きる保障があること、そしてそれを認める寛容な社会であることが大事です。

田住: 残す必要があるものは残していく。今は、残すものと変えるべきものを見極める時ではないでしょうか。

山崎: 例えば「礼」の精神は日本にしかなく、英語では伝えられないもの。そして「礼」を伝えることはAIにはできない。

秋永: 令和4年6月に成立した「こども基本法」では、子どもの意見を尊重することがうたわれています。小さな子どもにも、一つの人格があることをしっかりと認識して、意見をしっかりと聞きながら、社会みんなで育てていこうにしたいですね。



山崎 ケブン 40歳 | 久留米たすき |

— そのような社会の中で、議会は何を担うのでしょうか。

田住: この先、近隣の自治体を含めた合併もあるかもしれません。久留米市をしっかりと残していくのが、市議会の役割だと思います。

堺: チャンスや機会は平等であるべきもの。ただ、結果が残念なものになってしまったときにセーフティーネットで支援していくことが、議会や行政の役割です。これは変わらない。みんなの笑顔があふれる久留米にしたいと思っています。





もう一つ、公教育は大事。今はスマホから、自分の興味がある情報だけを選んでインプットするので、思考が偏りがちです。だから、学校で情報リテラシー*2を高めることはとても大切。だとすると、学校の先生が大事になります。

山崎: ネット空間はもっと拡大するでしょうし、それを否定しても仕方がない。情報の見極めが大切ということですね。

松岡: 何より教育に力を入れる必要があると思います。道路などのインフラ整備も大事ですが、30年後には車が空を飛んでいるかもしれないような変化の中で生きていくための教育。教育は、絶対に財産になりますから。久留米市はもっともっと子どもたちの教育に力を入れていくべきです。教育を行うことで、しっかりとしたまちづくりができます。市議会として一番やっていくべきことだと思います。



松岡 保治 49歳
| 議会広報委員会委員長 |

まちづくりに必要なのは人づくり。人づくりに必要なものは教育。それがまちづくりの根幹です。

坂田: これまで築いてきた久留米市の価値をつないでいくのも「人」ですからね。学力はもちろん大切ですが、それと同等以上に、心の教育、人としての教育も大切です。

吉武: 子どもたちには、これから訪れるであろう大きな変化の中でも生きていけるような「生きる力」を身に付けてほしいですね。

— 30年後のためには、今を大切にしないといけないと感じました。未来は悲観的なことばかりではないですよ。

松岡: どういう社会を望むかで未来が変わるのなら、大人がその「未来=子どもたちの将来の幸せ」を思って、それを目指しながら一つずつ取り組みを進めない。そして今の子どもたちが大人になった時にそれを引き継ぐことが大事です。



田住 和也 49歳 | きずな |

坂田 光弘 47歳 | 公明党 |



吉武: ただし、30年後も平和な社会であることが大前提です。日本国内だけではなく、世界との関係を考えていく必要があります。

松岡: 30年後も、平和が当たり前になるようにしないとイケないですね。

12 令和5年 12月定例会

7月大雨災害や物価高騰への支援策を含む 補正予算などを可決

主な審議事項

- 令和5年度一般会計補正予算
 - ・ 7月の大雨により被災した農業用機械・施設の修繕や買い替えに要する費用の助成、令和4年度末に甘木・朝倉・三井環境施設組合を脱退したことに伴う負担金など(第9号)
 - ・ 物価高騰に伴い家計への負担が大きい低所得世帯を支援する給付金、福祉施設等における電気代等の高騰分の一部助成など(第10号)
- 久留米市障害を理由とする差別をなくす条例、市道路線の認定



議案の議決結果と賛否の状況はP7へ ➡

12月定例会の経過 会期 11月29日から12月19日の21日間

- 第1日**
 - 会期の決定(21日間)
 - 市長から一般会計補正予算(第9号)など15議案の提案説明
- ▼ 11月29日
- 第2日~第5日**
 - 一般質問(P8,9へ)
 - 議案の質疑、各常任委員会へ議案の付託
- ▼ 12月7日~12日
- 常任委員会**
 - 総務・教育民生・経済・建設の4常任委員会で議案を審査(P6へ)
- ▼ 12月13日・14日
- 第6日**
 - 一般会計補正予算(第10号)など3議案が追加提出され、市長から提案説明
 - 追加議案を総務・教育民生・経済の3常任委員会に付託し、議案を審査
 - 追加議案を含む4常任委員会の議案審査結果を報告、全ての議案を可決
 - 人事議案1件が追加提出され、市長から提案説明の後、議案に同意
 - 久留米市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
 - 歳入確保調査特別委員会、生活支援交通・買物問題調査特別委員会の設置
- ▼ 12月19日

同意した人事案件

市長が任命、選任または推薦する人事で、議会が同意した案件です。

- 公平委員会委員
八尋 幹夫

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

地方自治法の規定により、選挙管理委員会委員及び補充員は議会の選挙で選ばれます。

- 選挙管理委員会委員
貞苅 隆男 土屋 千恵子 田中 良介 原 學
- 補充員
青柳 雅博 鶴田 俊一 田中 雅秀 田本 香苗

※ 敬称は全て省略しています。

※1 DX・・・デジタルトランスフォーメーションの略。ICT(情報通信技術)を活用し、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

※2 情報リテラシー・・・情報を適切に判断し、情報を通じて決定を下す能力。

pick UP! **議案審査の概要**

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。主な議案審査の内容をお知らせします。

総務常任委員会 可決

住居番号の設定誤りによる損害賠償 (第96号議案)

建物の住居番号*1設定事務の誤りにより、登記簿の所有者住所変更手続きに要した費用を賠償するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q これまでの書類の確認方法では同様の誤りが起こるのではないか。改善策をどのように考えているのか。

A 届出用紙の様式を見直すとともに、関係部署との情報共有を図るなど、再発防止に努めていく。

教育民生常任委員会 可決

豪雨災害で困りごとを抱える方を支援する体制整備のための費用を増額(第89号議案)

令和5年7月豪雨による被災で、生活や体調に不安を抱える方からの相談体制を充実するため、人員を増やす費用として264万円を増額補正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 相談体制を充実させることになった理由は何か。

A ボランティアセンター開設後、被災者の中に住宅の再建や就労・就学、心のケアなど、さまざまな支援を必要とする世帯が見受けられた。支援が必要な世帯は時間がたつにつれ増えており、体制を強化する必要があるためである。

経済常任委員会 可決

久留米市田主丸ふるさと会館の指定管理者の指定 (第98号議案)

施設の指定管理期間が令和5年度末に終了することから、公募による指定管理者*2候補者を決定し、次期指定管理者に「(株)つぎと九州・(株)tsumugi共同企業体」を新たに指定しようとするものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 指定管理者への応募が、前回は1者であったが、今回は民間企業を含め2者の応募となった。広く応募を募るため、どう取り組んだのか。

A ふるさと会館は、観光振興の拠点施設の役割を担っている。そのことを重視し、市が指定管理者に求めていることなどを、具体的に仕様書に記載した。応募者にとって指定管理者の役割が分かりやすく、具体的に提案しやすくなったことから、応募につながったと考えている。

建設常任委員会 可決

久留米市都市公園の指定管理者の指定 (第100号議案)

都市公園の指定管理期間が令和5年度末に終了することから、現在の指定管理者*2である「久留米市都市公園管理センター」を再度指定しようとするものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 5年間の指定期間中でも、公園管理の作業内容や単価、作業頻度を精査するべきではないか。

A 指定管理者による公園の維持を行う中で、随時見直しを検討し、より良い維持管理に努めていきたい。



指定管理者により管理運営する公園の一つ：津福公園

*1 住居番号・・・住居表示実施区域内の建物等に付ける番号。(例)町名+街区番号+住居番号：○丁目○番○号

*2 指定管理者・・・指定管理者制度により指定された民間事業者等のこと。指定管理者制度とは、公共施設の管理運営を民間事業者等に委託することにより、サービスの向上と経費の削減等を図る制度。

議案の議決結果

✓ **全員賛成で可決・同意した議案**

- 令和5年12月19日議決分
- 第89号 令和5年度久留米市一般会計補正予算(第9号)
 - 第90号 令和5年度久留米市競輪事業特別会計補正予算(第2号)
 - 第91号 令和5年度久留米市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
 - 第92号 令和5年度久留米市水道事業会計補正予算(第3号)
 - 第93号 令和5年度久留米市下水道事業会計補正予算(第3号)
 - 第94号 久留米市民交流センターの指定管理者の指定期間の延長について
 - 第95号 久留米市市民活動サポートセンターの指定管理者の指定について
 - 第96号 住居番号設定事務の過誤による損害賠償について
 - 第97号 久留米市教育集会所の指定管理者の指定について
 - 第98号 久留米市田主丸ふるさと会館の指定管理者の指定について
 - 第99号 市道路線の認定について
 - 第100号 久留米市都市公園の指定管理者の指定について
 - 第101号 甘木・朝倉・三井環境施設組合からの脱退に伴う財産処分に関する協議について
 - 第103号 久留米市障害を理由とする差別をなくす条例
 - 第104号 令和5年度久留米市一般会計補正予算(第10号)
 - 第105号 久留米市手数料条例の一部を改正する条例
 - 第106号 久留米市国民健康保険条例の一部を改正する条例
 - 第107号 久留米市公平委員会委員の選任について



12月定例会での採決

✓ **賛否が分かれた議案**

議案名	会派名	久留米 たすき	きずな	公明党	立志会	みらい 久留米	緑水会	日本 共産党	日本 維新の会	議決 結果
令和5年12月19日議決分										
第102号 久留米市職員給与と条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	×	可決

会派名の()内の数字は所属議員数です。ただし、きずな議員団は議長を除きます。議長は表決に加わりません。賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。
 会派名:久留米たすき(久留米たすき議員団)、きずな(きずな議員団)、公明党(公明党議員団)、立志会(立志会議員団)、みらい久留米(みらい久留米議員団)、緑水会(緑水会議員団)、日本共産党(日本共産党久留米市議員団)

議会トリビア

Q **議員が議案の採決に参加できないことがあるの？**

A 議長や議員に直接利害関係のある議案については、該当する議員は審議・採決に参加できず、議場や委員会室から退席しなければなりません。このことを「除斥(じょせき)」といいます。今回の定例会に提案された「第100号議案 久留米市都市公園の指定管理者の指定」では、指定管理先の副理事長等に就任している議長など5名の議員が除斥となり、議長に代わって副議長が議事を進行しました。



議員個人の賛否の状況はホームページでご覧いただけます

ここが知りたい 一般質問 個人質問

【個人質問とは?】議員個人が議案以外の市政について行う質問のことをいいます。12月定例会で行った質問の一部を紹介します。

みらい久留米 まちづくり・暮らし

Q 水道管の漏水調査に、人工衛星やAIなどを用いた新技術を採用する考えはあるか
A 既に、一部の自治体で新技術が採用されており、視察や聞き取り調査などの情報収集を行っている。早期発見や負担軽減のためにも、現在の調査方法と比較し、費用対効果を含め十分に検討していく。

その他の質問…大雨で被災した田主丸複合文化施設の今後の取り組みなど

日本共産党 まちづくり・暮らし

Q 外国人住民への相談対応の課題と相談窓口の周知方法、多言語対応への状況は
A 窓口の周知や相談しやすい環境の充実が課題。転入者に窓口で案内チラシを配布するなど様々な機会を通じ周知している。また、通訳者が表示される映像付き多言語通訳のタブレットなどを活用し、16言語に対応している。

その他の質問…介護人材確保など

久留米たすき まちづくり・暮らし

Q 中規模公園でのキッチンカー出店は様々な効果が見込まれると思うが、出店許可の考えは
A キッチンカーは、中央公園などのイベントで人気を集めている。現在、イベント以外の出店について、公園の規模や利用状況を踏まえ公園の選定や利用者の安全確保の方法など、具体的な条件を検討している。

その他の質問…脱炭素社会実現に向けた取組としてのウォームヒズなど

久留米たすき まちづくり・暮らし

Q 地域の生活支援交通として、利便性が高いデマンド交通^{※1}導入の考えは
A 現在、よりみちバス^{※2}などを導入しているが、高齢化が進み、持続可能な生活支援交通の確保の重要性は高まっている。デマンド交通も有効な手段と認識しており、各地域の特性やニーズ等を考慮し、検討していきたい。

その他の質問…防犯カメラで安心・安全なまちづくりなど

立志会 まちづくり・暮らし

Q 令和5年7月豪雨災害で閉館中の田主丸図書館の代替施設確保時期は
A 現在、田主丸地域内の公共施設の会議室などを活用した仮出張所の設置を検討している。設置に必要な通信環境の準備を行っており、年度内のなるべく早い時期に開設できるよう進めている。

その他の質問…生活排水処理基本構想の見直しなど

日本維新の会 防災・安全

Q 令和6年4月から介護事業所にBCP^{※3}策定が義務化されるが、未策定事業所への働きかけは
A 事業所のBCP策定状況の把握に努める。併せて、介護福祉サービス事業者協議会と連携し、具体的な策定手順や災害時のリスク分析の研修を実施する。事業所からの個別相談にも随時対応していく。

その他の質問…eスポーツ推進の可能性など

きずな 防災・安全

Q 田主丸町竹野地区における砂防や治山の取り組み内容やスケジュールは
A 砂防及び治山の堰堤工事に県が着手済み。国県市で連携し、概ね5年間の緊急治水対策プロジェクト^{※4}を取りまとめた。また国へ要望の結果、浸水対策の予算が確保されたことで対策がさらに進むことを期待している。

その他の質問…ふるさと納税の現状の取り組みと今後の考え方など

久留米たすき 文化・観光

Q eスポーツ^{※5}普及のために必要なこと、今後の取り組みは
A 普及には認知度を高める必要があると考える。誰もが楽しめ、今後、地域の活性化や経済効果など、大きな可能性を秘めている分野のため、行政としてどのような関わり方ができるのか、まずは情報収集を行っていく。

その他の質問…小・中学校の外国語教育など

みらい久留米 商工業・農業

Q 農業委員会は、耕作放棄地対策として、目標地図^{※6}の作成をどう進めていくのか
A 素案の作成にむけて、国県等と意見交換を行い、準備を進めている。農業者の意向を踏まえた上で地域の農業の将来像を描けるよう、市と連携して、来年度早期に地域での話し合いの場を設け、作成を進めていく。

その他の質問…災害時における公用車利用など

公明党 健康・福祉

Q 物価高騰の影響が大きい住民税非課税世帯への給付金の早急な対応が必要では
A 国の重点支援地方交付金^{※7}を活用した低所得世帯支援について、予算措置等の必要な準備を行う。これまでの給付金支給の経験を生かしながら事務手続きを進め、早期に給付金の支給を行う。

その他の質問…長門石校区の浸水対策の現状の取り組みなど

きずな 健康・福祉

Q 認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくための今後の取り組みは
A 「認知症への理解を深める普及啓発」「認知症予防と早期発見・早期対応」「認知症の人やその家族への支援、認知症の人が交流や活躍できる場づくり」の3つの方向性で、事業の拡充や支援体制の充実に取り組んでいく。

その他の質問…不登校児童生徒に対する今後の取り組みなど

立志会 健康・福祉

Q 「健康づくりのための食育」について、どう考え、どのような取り組みを行っているか
A 栄養に関する正しい知識や健全な食生活の普及啓発は「健康寿命の延伸」の推進に大変重要と認識している。ホームページでの生活習慣病予防献立の紹介や食生活改善推進員^{※8}による地域での食育推進などに取り組んでいる。

その他の質問…フリースクールへの公的支援など

公明党 教育・子ども

Q 働き方改革などに向けて、市立小・中学校への「チーム担任制^{※9}」の導入の考えは
A 「チーム担任制」は、教育の質の維持向上や働き方改革などにつながり、子どもたちにも教員にも様々な効果が期待できる方法の一つ。導入への課題はあるが、小・中学校の状況を踏まえ、連携して検討していきたい。

その他の質問…7月豪雨災害での久留米東部地域の防災対策や被災者支援など

緑水会 行財政

Q 久留米シティプラザの指定管理者制度などの運営形態の検討状況と今後の取り組みは
A 令和4年度から複数の公立文化施設の書面調査や現地での調査を行った。その結果も踏まえ、運営形態のあり方を検討している。今後、議会へ検討状況を示し、意見を聞きながら方向性を決めていきたい。

その他の質問…民生委員・児童委員の定数確保のための今後の取り組みなど

※1 デマンド交通
路線バスとタクシーの中間的な位置にある交通機関。事前予約により運行するという特徴があり、時刻、発着地などの組み合わせにより多様な運行形態がある。

※2 よりみちバス
10人乗車両を用いて、決まったルートを決まった時間に走るコミュニティバス。北野・城島地域で運行しており、誰でも利用可能。

※3 BCP
事業継続計画(Business Continuity Plan)。緊急事態が発生した際に、企業が事業を継続したり、迅速な復旧を行ったりするために必要な方針・体制・手順などを定めたもの。

※4 緊急治水対策プロジェクト
巨瀬川流域の浸水被害や土砂・流木災害を軽減するため、河道掘削、築堤、樋門・樋管整備、橋梁改築、砂防堰堤整備など、河川及び砂防事業を集中的に実施するプロジェクト。

※5 eスポーツ
「エレクトロニック・スポーツ」の略で、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。広い意味では、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉。

※6 目標地図
地域農業の将来のあり方の中で、農地の効率的かつ総合的な利用を図るために、10年後、誰がどの農地を利用していかのかを農地一筆ごとに定めた地図。令和5年4月の改正農業経営基盤強化促進法の施行に伴い、これまでの人・農地プランが地域計画として法定化された。目標地図は、その地域計画の一部。

※7 重点支援地方交付金
エネルギーや食料品の価格高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を通じて地方創生を図るための交付金。地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるように創設された。

※8 食生活改善推進員
地域住民の健康増進を目的に、食を通じた健康づくりの普及啓発活動を行うボランティア。地域で生活習慣病予防のための調理講習会を開催するなどの活動をしている。

※9 チーム担任制
学級担任を固定せず、複数の教員がチームで児童生徒の指導や事務処理などの学級運営を行うもの。

一般質問は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でご覧いただけます。また、過去4年分の録画映像を見ることができ、議会の日程や議員の名前、キーワードで検索できます。議会中継(録画)



常任委員会 活動レポート

常任委員会では、議案の審査だけでなく、市民生活に深く関わることを調査研究する所管事務調査や、市民などから市議会へ要望等を申し出るために提出された請願の審査なども行っています。
今回は、10・11月の常任委員会の活動状況をお知らせします。

常任委員会の録画映像をYouTubeで配信しています。その録画映像にリンクするQRコードを掲載しています。ぜひご視聴ください。

総務常任委員会

ふるさと納税の取り組み

ふるさと納税制度の概要や市の取り組み状況、今後の展開について、総務部総務課から説明を受けました。



Q 現在のふるさと納税は、返礼品を受け取ることが目的となり、自治体を応援するという本来の趣旨とかけ離れてきている。今後、どのように取り組んでいくのか。

A 全国的に返礼品競争が過熱しており、国も随時制度の見直しを行っている。ふるさと納税は市の貴重な財源の一つであるため、寄付の理念を見失わないよう努めながら、寄付額が増えるように取り組んでいきたい。

その他のテーマ▶ 第2期久留米市地方創生戦略の進捗状況や改訂

経済常任委員会

久留米競輪場の現地調査

競輪場は、老朽化のため再整備を検討しています。車券売上や整備手法の検討の状況などについて、競輪事業課から説明を受け、競輪場の現地調査を行いました。



車券投票所

その他のテーマ▶ 生活排水処理基本構想の見直し(2回目)

教育民生常任委員会

教育振興プランの進捗状況

「教育振興プラン」の令和4年度の進捗や教育委員会の事務の状況を点検・評価した結果について、教育委員会から説明を受けました。



Q 全国学力・学習状況調査では、全国平均に届かない状況が10年以上続いている。これまでの対策では効果が出ないのではないか。

A 各学校では、毎年度、学力向上プランを策定し、学力向上に取り組んでいる。市教育委員会では、それぞれの学校の実態を把握・分析し、学校に合った手法を提案するなど、支援の仕方を見直しており、引き続き学力の向上につながるよう取り組んでいく。

その他のテーマ▶ 図書館の運営状況や今後の取り組み

建設常任委員会

上津クリーンセンターの現地調査

現在の施設の状況と、令和10年度中の稼働に向けた新施設への建て替えについて、環境部から説明を受け、上津クリーンセンターの現地調査を行いました。



ごみクレーン操作室

その他のテーマ▶ 7月大雨災害からの復旧に向けた取り組み(現地調査)

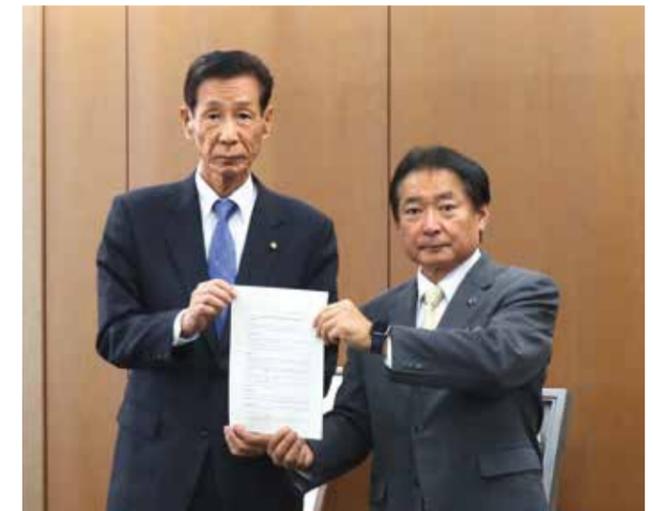
TOPICS

7月豪雨に関する意見等を市長へ提出

昨年7月の豪雨により、本市では土砂災害をはじめ甚大な被害が発生しました。市議会では、6月30日に「災害対応連絡会議(以下、連絡会議)」を設置。被災直後には、各議員が収集した災害情報を市の対策本部へ提供するなど、対応に追われました。

その後、市本部から被災状況や災害対応等に関する説明を受けました。それに、各議員が被災地を訪ね、現地で見聞きした情報を加味しながら、連絡会議で今回の豪雨災害への対応について議論。市民の生活再建を第一に考えた意見等を取りまとめ、11月24日に市長へ提出し、今後の市の防災、減災、復興への参考とするよう申し入れを行いました。

連絡会議の設置は約5カ月間に及び、12月1日に解散しました。



吉富議長(左)から原口市長へ7月豪雨に関する意見等を提出

2つの特別委員会を設置

12月19日に、歳入確保調査特別委員会と、生活支援交通・買物問題調査特別委員会が設置されました。令和4年度決算では、歳入財源のうち6割が国庫支出金などの依存財源であり、経常収支比率が94.7%と財政構造の弾力性が低くなっています。そのような状況の中、歳入確保は重要な課題です。

また、高齢社会の中では、生活支援交通や買物弱者の問題は深刻です。地域コミュニティや交通事業者などと協働で取り組んでいく課題となっています。

今後、両委員会では、執行機関からの説明のほか、現地調査や専門家の意見などを踏まえ、委員間で議論し調査・研究を進めていく予定です。

○歳入確保調査特別委員会

委員長	甲斐田 義弘	委員	そうだ 耕一郎
副委員長	轟 照隆	委員	秋永 峰子
委員	堀田 光太郎	委員	原口 和人
委員	長野 哲	委員	塚本 弘道
委員	山田 貴生	委員	田中 功一

○生活支援交通・買物問題調査特別委員会

委員長	田住 和也	委員	石田 眞一郎
副委員長	坂田 光弘	委員	後藤 敬介
委員	堺 太一郎	委員	石井 秀夫
委員	山崎 ケブン	委員	大熊 博文
委員	吉武 憲治	委員	山下 尚



例えば...

少子高齢化
人口減少

公共施設の老朽化

公共交通の減便・撤退

居住のためのエリアや都市的な機能を持つエリアなどを明らかにして、コンパクトで効率的なまちづくりを進めています。

これから自動運転が実用化されたりDXがさらに進歩したら世の中は大きく変わる

自分たちの将来を思い描くためには何か必要なのは何か一緒に考えましょう

なんだか未来が楽しみなってきた

若人たちが自分たちの将来を思い描くためには何か必要なのは何か一緒に考えましょう

お！

市議会議員

市議会議員

市議会議員

市議会議員

市議会コラム⑧ 市議会議員の仕事って？

森の生き物の減少
少子高齢化
エネルギー問題
環境問題……

森もり市の未来にも様々な課題があります

俺たちが大人になったときこの森はどうなってるんだろう

不安なニュースも多いよね

森もり市の子ビモラビ子 ホノホ

目の前の問題だけでなく、世の中の変化を含めて長い目で考え先手を打つ それも今を生きる私たちの使命だと思っています

すぐに解決ができませんが

※DX…デジタルトランスフォーメーションの略。ICT(情報通信技術)を活用し、ビジネスだけでなく人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

編集後記

今号の特集では、「くるめっ子の30年後のために」について市議会議員として考えていること、やりたいこと、できることについてのディスカッションを企画。今の大人が、子どもたちに何を残していかなければならないかなど、様々な意見を出し合いました。

議会広報委員会

今号の表紙



表紙は、特集に関連して、子どもたちの明るい未来をイメージして撮影しました。3歳の男の子が、公園を元気いっぱい走り回って、シャボン玉で遊ぶ様子を撮影しています。風に乗って大空へ飛んでいくシャボン玉は、子どもたちの夢を乗せているようでした。

次回定例会の案内

市議会の本会議は、誰でも傍聴できます。市役所20階の傍聴席までお越しください。本会議が始まる時刻は、午前10時の予定です。

インターネット中継もどうぞ

本会議の内容は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でもご覧いただけます。



議会中継

3月定例会(予定)

月	火	水	木	金	土	日
2/19	20 本会議 (提案説明)	21	22	23	24	25
26	27	28	29	3/1 本会議 (一般質問)	2	3
4	5 本会議 (一般質問)	6	7	8 予算委員会	9	10
11	12	13	14	15	16	17
予算委員会						
18 予算委員会	19 常任委員会 (教育民生 建設)	20	21 常任委員会 (経済 総務)	22	23	24
25	26 本会議 (採決等)	27	28	29	30	31

※日程は都合により変更されることがあります。

市議会だよりを読んでのご意見、ご感想をお寄せください

発行: 久留米市議会 編集: 議会広報委員会 / 久留米市城南町15番地3
TEL.0942(30)9305 / FAX.0942(30)9720 / E-mail gikai@city.kurume.lg.jp

「市議会だよりくるめ」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。ご意見等はこちらからも投稿できます▶

